Sai × Chaya

ソリストと巡る旅。

秋・パルナソスの午後２９
ソリスト　崔　勝貴

姫路市吹奏楽団音楽監督・指揮
茶屋　克彦

取材・文章　西面　府美
野川　瑠衣

和気あいあいとした雰囲気でお話される
息ぴったりな崔先生と茶屋先生

秋・パルナソスの午後29では、崔勝貴先生にソリストとして出演していただきます。
当団音楽監督の茶屋克彦先生と当団木管トレーナーでもある崔先生に、サックス協奏曲「バーズ」や音楽への思い、現在の活動からプライベートな事まで伺いました。
（※以下、茶屋先生→茶　崔先生→崔　広報部→広報）

今年のソリストを崔先生にお願いしようと思われたのはなぜですか？

茶：僕と崔先生は、神戸山手女子高等学校で一緒に吹奏楽を教えています。崔先生は以前から新進気鋭のサックス奏者として有名でした。実際に彼の音を聴いた時、本当に素晴らしかったので、今回ソリストとして出演を打診するとすぐに快諾してくれました。「バーズ」だけでなく崔先生と一緒に色々な企画があるのですごく楽しみです。

なぜ「バーズ」を選曲されましたか？

茶：「バーズ」を初めて聞いた時、ものすごく感動したんです。特に二楽章は、真島先生ご自身も「これ以上、こんなキレイなメロディーかけないよ」と仰っていたぐらい美しい曲です。真島先生さすがです！という感じ。

広報：崔先生は？

崔：僕が言いたかったことはすべて茶屋先生が説明してくださいました。僕から言うことないです（笑）選曲した理由は：昔からシンプルにこの曲を演奏してみたかったからですね。僕が中学生ぐらいのときに須川展也さんのCDが発売されていて。そのCDを聴いて、いつかやりたいっていう思いがありましたね。偶然なのですが、選曲したあとに作曲者の真島俊夫さんが亡くなられました。追悼の意味も込めて演奏したいと思います。

「バーズ」の作曲者・真島先生と茶屋先生との出会い

茶：昔、「全国吹奏楽指導者クリニック」に大阪市音楽団として参加した時に初めてお会いしました。夜、先生方とお酒を飲んでいたら赤松二郎先生（音大時代の先生、サックス奏者）に、トントン肩を叩かれ「ドラムたたいてよ（低い声）」と急にお願いされたんです。「今からカルテットするからバチもってきて」と言われ、酔ってヘロヘロの状態で参加することに。そこへトロンボーンを持ってやって来られたのが真島先生でした。赤松先生に「こちら真島先生だよ」と紹介していただいたのが初めての出会いです。真島先生はトロンボーンがお上手で、アドリブも本当に素晴らしかった。その後、真島先生も交えてお酒を飲ませていただき、とてもいい思い出になりました。

音楽家を目指したきっかけは？

茶：僕は四歳からマリンバを始めました。それから中学三年生の時、門下発表会で先輩方のマリンバアンサンブルを聴いた時に衝撃を受け、「僕も一緒に演奏したい」と言うと、当時師事していた先生に「あかん。音大行かな参加できひんよ」と言われた。じゃあ音大目指そう！と思ったのが最初のきっかけですね。あと、実は僕は音大時代に「ジャズもクラシックも見事に吹きこなされる赤松先生(※前述)」の後ろ姿に憧れて、マリンバ少年から一気にドラマーに転身したんですよ。転身のきっかけを与えてくださったのが打楽器の先生じゃなくてサックス奏者っていうのが面白いですよね。それと当時、スーパードラマーのすごい先輩がいらしゃったんですが、大阪にある「ロイヤルホース」他、色々なジャズのライブバーで活躍されたあと、卒業後あの有名なジャズトランペッターの日野皓正さんのバンドに加入され活躍しているのを目にして、自分も演奏家を目指そうと思ったきっかけになりました。

崔：僕は、小さいころから歌手になりたくてボイストレーニングやミュージカルスクールに通っていたんです。母の知人で、趣味でサックスをやっていらっしゃる方がおられ、「サックスってかっこいいな～」と思って中学一年生の時に吹奏楽部でサックスを始めました。でも二年、三年の時はなんと打楽器担当だったんですよ。三年生のコンクールはティンパニで出場しましたね。高校生になってからアルトサックスを買ってもらったんですが、その時もまだ歌手になるつもりでした。でも同時に「サックスもうまくなりたいな～」とずっと思っていて、ソロコンを受けたんです。でも、その結果がもうズタボロで・・・（笑）本当に悔しすぎて、レッスンを受けようと当時打楽器パートのレッスンに来られていた先生に紹介していただいたのが師匠の西本淳先生でした。西本先生のところへ高校一年生の冬に初めてレッスンに行って、そこで180度変わりましたね。先生との出会いが衝撃的すぎて「音大行きます！」って先生に言いました。突然すぎて先生もビックリしておられましたが、「え？じゃあ音大来たら？」って言われて「行きます！」って親になんの相談もせずに即答（笑）そして帰宅してから母に、「僕、音大行くわ！」と宣言。「なにで受験するの？」って聞かれたので、「サックス！」って言ったら「あんた歌手なるんちゃうの？」って言うので、「いや、僕サックスで行くわ！」っていうのがきっかけで今に至ります。

音楽講師以外の活動内容は？

広報：崔先生はサックス以外にも色んな楽器の方と活動されていますが、他にどんな活動をされていますか？

崔：ジブリのオーケストラで全国を回ったり、最近はミュージカル俳優さんのコンサートとか宝塚の元トップスターの方と共演する機会があったりとか。あとオーケストラですね、京都市交響楽団さんとか幅広く活動させていただいてます。

崔先生は演奏しているとき緊張しないですか？

崔：緊張はしないですね。ライト浴びると何にも考えず、ただ音楽に没頭します。元々歌手志望だったので目立ちたがり屋というか、表舞台が好きな人間なんです（笑）例えば二千人ぐらいのホールで全員が僕に注目しているって考えただけでめっちゃ気持ちいいですね。そこで失敗するかどうかなんて考えない。だってお客さんは失敗するのを見に来てるわけじゃないですよね？そういうことを考えるとすごくワクワクします。

お仕事が休みの日は何をされてますか？

茶：買い出しかな？あと僕は帽子が必需品なのでそれを見に行ったり。それと：：洗車かな。車がちょっとでも汚れていると気になるので時間があったら洗車に行きます。僕はフリーランスなので、多方面での楽団の仕事が立て込んで来ると、もちろん休日にはスコアを読んだりもしています。

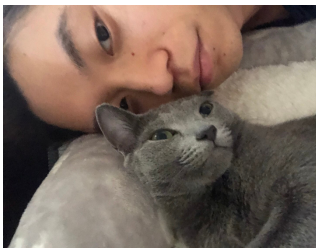
崔：僕も買い出しとか家事全般ですね。時間があれば手料理もします。

広報：どんなものを作られるのですか？

崔：最近チャーシューを作りました。

一同：おーーーー！！

崔：あとペットのシシィちゃんを愛でています♡シシィちゃん専用のペットカメラを設置していて、レッスン終わったらいつもチェックしてます（笑）



シシィちゃん溺愛中の崔先生

崔先生の愛猫シシィちゃん

最近のマイブームは？

茶：YouTubeよく見てるかな。内容は、車、ドラム、猫とか。

崔：猫？！「もちまる日記」って見てます？

茶：見てるー！もち様めっちゃ可愛い～！

崔：可愛いですよね！

茶：めっちゃかわいいねん！！最近もち様、新居買ったんやで。

崔：ええぇーー！

広報：お二人とも猫派なんですね（笑）マイブームといえば崔先生、最近ハマっていることがあるとお聞きしましたが。

崔：はい！宝塚にハマってます！ヅカオタです！

茶：えーー！！？知らなかった！これはこれは喋りだしたら止まらないやつだ～！

広報：推しはどなたですか？

崔：もう退団されたんですけど、元雪組トップスターの望海風斗さんです。今のイチオシは雪組二番手の朝美絢さんです。ちなみに僕の愛猫シシィちゃんも宝塚の「エリザベート」という演目の中の、エリザベート皇后の幼少期のあだ名からつけました。

推しの朝美絢さんと同じポーズで

今回の演奏会の聴きどころ

崔：「バーズ」二楽章ですかね。「バーズ」二楽章が先に出来て、そこから一楽章と三楽章が出来たんです。それを考えると二楽章は真島先生にとって特に思い入れが深いのかなぁと思います。それと全曲を通してとても色彩感豊かでロマンチックな曲なので、吹奏楽の伴奏と共に美しく変化を引き出したいです。

茶：今回のプログラムは吹奏楽の名曲を揃えてみました。特に「バーズ」二楽章と、「陽が昇るとき」の最後、「GR」の最後のメロディーに注目して頂きたいです。そこに共通しているのは、ゆったりと美しいフィナーレ。ジーンと最後に心に残るフレーズがあるので、そこをお客様に感じていただければ。

Thank You!